

平成24年度 第2回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 会議録（要旨）

1. 日 時：平成25年3月28日（木）14：00～15：30
2. 場 所：熊本市国際交流会館 第3会議室
3. 出席者：9名  
 小堀委員（委員長）、伊東（龍）委員、今村委員、岩下委員、上村委員、富田委員、松本委員、毛利委員、安武委員  
 欠席者：9名  
 伊東（麗）委員、北野委員、斎藤委員、千田委員、高瀬委員、田中委員、丸野委員、山尾委員、吉丸委員
4. 配布資料
  - ・ 資料1 （平成24年度委員会・部会活動内容）
  - ・ 資料2-1 （前回部会からの経過報告）
  - ・ 資料2-2 （平成24年度 第2回史跡・建築部会）
  - ・ （国復元検討委員会審議結果） ※口頭説明
  - ・ 資料2-4 （平成24年度 第3回史跡・建築部会）
  - ・ 資料3 （平成24年度 第2回活用部会）
  - ・ 資料4 （平成24年度 第3回計画策定部会）
5. 次第
  - (1) 開会
  - (2) 委員長挨拶
  - (3) 議事
    - ① 各部会報告各専門部会報告
      1. 平成24年度委員会・部会活動内容
      2. 史跡・建築部会
      3. 活用部会
      4. 計画策定部会
  - (4) その他
  - (5) 閉会
6. 議事録（要旨）
  - (1) 建築・史跡部会【資料1、資料2-1～資料2-4】

質問・意見	回答
(上村委員) ① 国復元検討委員会審議結果5に、活用について、史跡の理解や保護に負の影響を与えかねないものとあるが、どのようなケースなのか。	(事務局) ① これまで具体的に明確な指摘を受けているものはないが、スポーツ関連などイベント的なものが先行して活用されているということや火気の取扱いなど少し懸念されているのではないかと考えている。
(今村委員) ② この復元検討委員会審議結果を見ても何か詳細がよくわからない。今後の利活	(事務局) ② この文章の内容については、新年度すぐに文化振興課長と熊本城総合事務所長

質問・意見	回答
<p data-bbox="336 174 576 208">&lt;前ページつづき&gt;</p> <p data-bbox="336 215 826 327">用にも影響があると思われるので、事務局で文化庁の担当調査官に直接真意を確認していただきたい。</p> <p data-bbox="300 371 456 405">(小堀委員長)</p> <p data-bbox="284 412 826 680">③ 昨日の文化財保護委員会でもこの話題が取り上げられた。1 番目の調査研究組織、4 番目の報告書は早急にすべき、5 番目利活用についても具体的にどういうことなのかということを経文化庁と詰める必要があるという話になったことを付け加えさせていただく。</p> <p data-bbox="300 725 432 759">(安武委員)</p> <p data-bbox="284 766 826 922">④ 国復元検討委員会審議結果3に、城郭全体の石垣崩落危険箇所を精査した上でとあるが、これまで熊本城では石垣の危険箇所の調査をされたことはあるか。</p>	<p data-bbox="906 174 1145 208">&lt;前ページつづき&gt;</p> <p data-bbox="938 215 1318 248">で、文化庁へ出向き確認したい。</p> <p data-bbox="863 725 975 759">(事務局)</p> <p data-bbox="847 766 1406 1066">④ これまでは、孕みだしや崩落危険箇所等、目視による調査を実施している。保存修理については年次計画を立て、昭和 41 年より実施してきている。全く調査していないわけではなく、今回の指摘は詳細な悉皆(しっかい)調査を実施し、石垣のカルテをきちんと作成した上で石垣整備計画を立てるようにとの内容かと考えている。</p>

(2) 活用部会(資料3)【説明：熊本城総合事務所・総務班】

質問・意見	回答
<p data-bbox="300 1205 427 1238">(富田委員)</p> <p data-bbox="284 1245 842 1402">① 報告の中に、博物館と連携をとってほしいとの内容があったが、将来的にはこの委員会にも博物館から出席してもらい、話し合っていていただきたい。</p> <p data-bbox="300 1671 507 1704">(伊東(龍)委員)</p> <p data-bbox="284 1711 842 1912">② 用語の統一をしていただきたい。例えば、天守閣という言い方であるが、これは天守と呼ぶのが本来一般的ではないか。ほか大天守、小天守といったように今後この委員会含め統一してもらえればと考えている。</p> <p data-bbox="300 1957 427 1991">(毛利委員)</p> <p data-bbox="284 1998 842 2031">③ 天守閣内に城下町の模型があるが、今後作</p>	<p data-bbox="884 1205 995 1238">(事務局)</p> <p data-bbox="868 1245 1406 1637">① 天守閣内の展示は博物館分館として位置付けられている。教育委員会所管で現在細川家関係の展示品、特に永青文庫関係の資料が随時撤去されてきている。博物館本館が平成26年度にリニューアル予定であり、リニューアル後に撤去した資料等を展示する予定と聞いている。博物館と十分連携をとりながら、天守閣内の展示のあり方について検討していきたい。</p> <p data-bbox="884 1682 995 1715">(事務局)</p> <p data-bbox="868 1722 1406 1834">② 今後本委員会において保存管理計画改訂を予定しているので、その中でも検討していきたい。</p> <p data-bbox="884 1957 995 1991">(事務局)</p> <p data-bbox="868 1998 1406 2031">③ 天守閣の耐震化も控えているので、今後</p>

質問・意見	回答
<p>&lt;前ページつづき&gt;  り直していく予定があれば、もっと精巧なものを作ってほしい。城下町含めた惣構えがよくわかるようなものが良いと思う。今後も含めた考えを聞かせて欲しい。</p>	<p>&lt;前ページつづき&gt;  天守閣展示のあり方の中で検討していきたい。</p>

(3) 計画策定部会（資料4）【説明：文化振興課】

質問・意見	回答
<p>(上村委員)  ③ 資料4-3で、用途地域が藤崎台球場は不適格ではないかとの指摘がされているが、その件に関して説明して欲しい。</p>	<p>(事務局)  ① 文化財としての熊本城跡内に野球場は不適当でないかという委員からのご指摘であり、現在の用途地域では公共的な施設は認められ、都市計画上違反している建築物ではない。</p>

(4) 各委員よりの意見

(小堀委員長)

- ・ 委員任期は2年間であり、今回が平成23・24年度の任期最後の委員会となる。2年間振り返った感想も含めて各委員よりご意見をお願いしたい。

(伊東(龍)委員)

- ・ 文化庁からの5つの指摘に今後十分対応していただきたい。

(今村委員)

- ・ 伊東先生同様、文化庁からの指摘について早急に熊本市に解決していただきたい。これが今後の熊本城の整備全てに関わってくるので、事務局によりしくお願いしたい。

(岩下委員)

- ・ 昨日中心市街地活性化協議会が開催され、その中で合同庁舎跡地利用について意見が出された。熊本城に年間150万人の観光客が訪れるが、滞在時間が短く、残念ながら熊本城の熊本市への経済貢献度は低いのではないかと。当然経済界での中心市街地の魅力アップも必要であるが、二の丸駐車場から中心部への距離が長いので、合同庁舎跡地については、平成9年度に策定された熊本城復元整備計画に基づいて、バスと自家用車の駐車場を是非整備してほしい。熊本城をできる限り昔の姿にしていくことは重要なことであるが、市民の財産である熊本城を熊本の経済、地域振興の核と捉えることが重要ではないかという経済界から強い要望が市当局へ出されたところである。保存管理計画とも密接に関係すると思われるので、市全体で関係部局と連携の上、私共経済界の要望をお汲み取りいただけるようよろしくお願いしたい。

(上村委員)

- ・ 数年前参加させていただいた別の委員会では答申書までまとめたが、今回2年間の委員会では意見をいうのに終始していささか残念な思いである。
- ・ 新年度から奉行丸・南大手門が開放されることは大変よいことだと思う。
- ・ 今年の春のお城まつりにおいて先行して奉行丸・南大手門開放されていて、たくさんの観光客が南大手門に入られていたが、もっと奉行丸を活用してもらいたい。
- ・ 奉行丸にお茶が飲め、休憩できるような場所があってもよいのではないかと。また、物品販売が出来るかどうかかわからないが、奉行丸で農産物を販売できれば良いと思う。
- ・ お茶席については、茶業組合へ依頼してボランティアとしてやってもらえれば良いと思う。お金をかけずに観光客のおもてなしが出来ればと考える。このような、南大手門プラスアルファで仕掛けをしていただければと思う。

(富田委員)

- 西南戦争の戦跡が国指定史跡に答申されている。熊本城の攻防があり、田原坂などは西南戦争の枝葉の戦いになる。史跡整備だけでなく、ソフト面でももう少し西南戦争を語ってもよいのではないかという気がしている。
- 先程話のあった平左衛門丸の廊下堀が復元されるが、江戸中期頃に形式が変わった堀であり、そのことは覚えておいていただきたい。

(松本委員)

- 私も何年前に熊本城の利活用の委員会で議論させていただいたが、よい意見あまりよくない意見あると思うが、なかなか決定にならず実現しない。むなしい思いがする。
- 今後の計画が必要ではないか。10年後、20年後、50年後どうあるべきか大きなグラウンドデザインができるのではないかと思う。
- 熊本城はどこまでか、城下町はどこまでか、それらを大きく見る必要があるのではないかと思う。
- 熊本城や城下町の絵図を城内で買えるなどどこかで準備してもらえれば。

(毛利委員)

- 清爽園を月1回地元で清掃活動している。年1,2回自衛隊から水をくみだしてもらい清掃している。きちんと土留めがしていないので、半年1年経つとどんどん土が流入してくる。もう少し根本的に整備していただければ、毎月の清掃ももっときれいになっていくのではと思う。
- 資料に景観についてあり、保存管理計画に新町地域も含められるということであれば、現在55mになっている建築物の高さ制限55mを当初の50mに変えた方がよいのではないか。
- また城下町全体の絵地図があったら良いと思う。現在一新まちづくりの会の会員が鳥瞰図を作成している。当初は熊本城の鳥瞰図だったが、この程新町、古町、山崎町、新市街、下通、上通、坪井まで含めたものが完成した。時代的に錯綜している部分もあるが、少し整理すれば立派な鳥瞰図になると思う。市文化振興課でも重ね図を作成し、完成するようになるので、このような楽しい絵地図ができればと考えている。
- 高麗門の遺構が発見されて、国指定の文化財になるとまた新しい城下町の魅力になるかと思う。
- 藤崎台のクスノキも地元で年3,4回清掃活動しているが、最近幹周りの一番大きいクスノキまで近づけるようになり、またカズラやツタも除かれ根っこが見えるようになった。そこで一度幹周りを正式に測定していただくと蒲生や武雄の大楠の記録を超えるかもしれないので逆転できたらと考えている。
- 城下のお菓子を城内どこかに置いてもらうことも魅力と考える。最近のイベントで朝鮮棒というお菓子を販売したらあっという間に売り切れた。

(安武委員)

- 長らくボランティアガイドをしているが、観光客から熊本城はすばらしいと言われる。説明の中で、この石垣は何であるとか、西南戦争の時はこういうことがあったとか簡単なことを少し付け加えて説明すると非常に反応も良い。
- 一方で良い印象があったとしても、例えば店やタクシーの対応がよくなかったりではいけない。それぞれの立場で貢献する必要があると思う。土地の方々とやりとりが印象に残るものと思う。全員で観光についておもてなし、盛り立てていくということを提言したい。
- この委員会に参加してもらい、市役所や熊本城総合事務所はじめ方々のご苦労が理解できた。これからも尚一層深めていってもらいたい。

(小堀委員長)

- 市の方からもご意見・ご感想お願いしたい。

(仙波観光振興課長)

- 観光振興の中で熊本に来て見て欲しいものは熊本城と考えている。熊本市は往時の姿をほうふつさせるため櫓など木造建造物の復元を少しずつ進めている。私共としては是非ご紹介したい内容の1つである。しかしながら、お城の保存継承を根底にいかに関活用していくかについて委員の皆様の意見を伺いながら今後も取り組ませていただきたい。

(松石文化振興課長)

- 加藤・細川家、これまでの熊本の人々が守ってきた熊本城をしっかりと保存して、次の世代に継承していかねばならないという重要な責務を感じているところである。
- 熊本城の歴史を大事にしながら、県市民の皆様に関親しまれ、より多くの観光客の方に関この熊本城という本物のお城を来て、見て、触れて、勉強し、すばらしいお城をわかっていただき、そして次の人たちに関つないでいかねばならないと考えているところである。

(松本熊本城総合事務所長)

- 保存と整備と活用という三位一体で、次年度も取り組んでいきたい。

(坂本観光文化交流局長)

- 今日の新聞で熊本県が今後30年間で人口減少するという記事が掲載されていた。そのような中一人でも多くのお客様に来ていただき、お金を使っただけかに関観光振興としての課題である。
- 熊本城は地域振興の核であり、観光のバロメーター、元気の象徴である。今後も熊本城を活用していかねばならないと考えている。
- 当然保存についても、市民に支えられる保存ということが大事であり、市民の皆さんが保存したいと気持ちになってもらうことも大事である。そのために保存をしているPRも大事。ある意味成功例の1つと考えているが、これだけ多くの方々が一口城主に寄付されるのは、熊本市が今第Ⅱ期の復元整備計画のPRしている結果ではないかと思う。
- 先週熊本市は国連から「いのちの水大賞」というものをいただいた。これは地下水がすばらしいからではなく、地下水を守る政策を認めていただいた。熊本城についても本物の保存をすれば、世界から評価される政策になると思う。
- 国復元検討委員会から調査研究組織を設置しなさいという指摘については、我々も既に考えていて昨秋に人員要求を行っている。政令指定都市に伴い組織分散したため人員不足している状況にあるが、どうにかして専門職員を配置していきたいという思いである。
- 歴史ある熊本城をきちんと保存することが、世界からも評価されることと思っているのでご安心いただきたい。きちんと保存しつつ、かつ活用とのバランスを図っていきたい。

(小堀委員長)

- 今回の指摘事項は大事な内容である。文化庁の基本的な考え方であり、是非考えていただきたい。予算等の関係もあり難しいと思うが、是非できるだけ早く取り組んでいただきたいという委員皆様の意見をしっかりと受け止めて欲しい。
- 今回が任期最後の委員会である。2年間ありがとうございました。また来年度新たなメンバーで充実した委員会になることを期待し、閉会とさせていただきます。